

検討項目意見等の集約結果

委員名	①「部会での検討が必要」と考えられる検討項目とその内容	②課題等について話題提供の希望について		③部会の進め方や検討内容等へのご意見
		a. 話題提供のテーマ・項目	b. お話いただける内容	
川那部 浩哉	-	-	先ほど出張先から移動中の川那部より、15分程度次に何をするのがよいか話題提供をしたいので、時間の確保をお願いしたいと連絡が入りました。テーマ等については出先からということも有り未定ながら、お時間の確保についてよろしく申し上げます。	-
倉田 亨	1. 河川の持つ「自然の摂理」に対する機能についての認識（河川をどう考えるか） 2. 琵琶湖は約50年前には1万t強の漁獲をあげ（40種類以上の漁法・漁業種類があった）、農水省では海面漁業に準じた扱いをして来た。今日の漁業壊滅に至った原因に総合開発に伴う土木・河川整備が関わった原因を詰めておく必要がある。琵琶湖の将来にとっても、河川・湖沼水系整備のあり方を考える上でも「生きたテキスト」になる筈である。 3. 治水・親水・利水を十分果たせる将来計画を立てる方策を考える。 4. 河川と湖面の漁業への取組み（県行政と漁業者の努力）	左記の2. と1. (4.)	時期…年内はスケジュール的に無理。（忙しいが、何としても出席して話の進み具合はホローしたい）	県がアユ種苗生産に力を入れているところを委員方に見て欲しかったのだが…。視察がだめなら（安曇川）、解説する機会を望みたい。
西野 麻知子	1. 琵琶湖に流入する河川に作られたダムや河川改修が琵琶湖に及ぼす影響 ダムや河川改修がその河川の生物や環境に与える影響については、いろいろ議論があるが、河川が流入する琵琶湖への影響については、十分な整理がされていないのが現状である。琵琶湖部会の検討課題のひとつである丹生ダムの問題もあるので、この問題について整理をしておく必要があると思う。琵琶湖の環境サイドから考えられる問題として、以下のようなものがある。 (1)ダムにより、（冬に酸素を含んだ）雪解け水が琵琶湖に流入しなくなる問題 (2)河川からの土砂供給の減少 (3)河川からの濁水の流入 <詳細は別紙1>			
三田村 緒佐武	◎流域委員会で検討すべき課題をまずあげます。 (1) 委員会でいう河川とは何か。 ①水系全体とおよぼす範囲を含む、②水系全体、③河川の本支川 (2) 上記のうち、河川生態系（河川環境の水理、水質、生物など物質循環系としての生態系）の維持機構と河川開発の適正規模 (3) 国民（市民）が河川に何を望んでいるのかの集約と、それに答えるための行政の基本的あり方とは何か。 (4) 上記を通しての環境教育。すなわち、市民（学校教育での児童、生徒を含む）の主体的環境観の育成と組織としての客体的環境観の規範の構築。 ◎琵琶湖部会では、上記の基本的視点に沿った琵琶湖とその集水域の動態把握、ならびに下流淀川水系へ及ぼす影響、と水系開発のあり方を議論して欲しい。	-	-	-
村上 悟	●子どもにとっての琵琶湖と河川 ●生態学的水需要に関する議論 ●外部からの一時滞在者の扱いに関する議論 ●学校とのかかわり方に関する議論 ●淀川水系の水需要をどこまで減らせるか ●丹生川ダムの建設を含めた高時川の今後に関する議論 ●環境経済学の活用に関する議論 ●本委員会における住民意見の聴取方法 <詳細は別紙2>	河川台帳と湿地目録	河川法の目的に「環境」と「住民参加」が加えられたのに応じて、「河川台帳」の項目や運用の仕方にも変化が必要であると考え。ラムサール条約の「湿地目録」を横目に見ながら、この台帳の意義と今後の役割について議論する。	